

広報 のぼりべつ



3月号
No.10

加入第1号の手続きをする

高田町長

交通傷害保険

受付はじまる

一日より住民課交通安全係と登別、登別温泉、鶴別の各支所で、いっせいに開始され、この保険は、交通事故による生活の不安をすこしでも少なくしようと実施したものです。加入者も日頃感じている問題だけに、出だしは上々。

係では、加入目標を四千人として町内会、各会社団体等を通じ、全町民に呼びかけて、保険制度の趣旨徹底をはかつています。

加入方法は、次のとおりですが町民であれば、年令、職業をとわず、どなたでも加入できます。まだ申し込みをしていない方は、早めに加入して、生活の不安を少なくしましょう。

保険料は、一人年間三百六十円ですが、途中加入者は、月三十円の割で、来年三月までの分を納めていただきます。

なお、申し込みの際は、保険料と印鑑を持参して加入手続をしてください。

町の人口

(二月末現在)

世帯数	計	男女
一、一〇世帯	二六、四九人	(三八減)
	二〇、八六三人	(三二減)
	四二、二八二人	(七〇減)
	一、一〇世帯	(一七減)

各委員長の報告を承認

第二回臨時議会は、二月九日午前十時より開かれました。

した出納検査の監査報告で、出納事務は正確におこなわれているとの報告がされたあと、一月十一日開かれた第一回臨時議会で附託された国保会計の運営と清掃会計の運営について、社会委員会より報告されました。次いで、経済委員会から国際観光会館並びにオロフレ庄の運営について報告され、いずれも承認されました。

第二回 臨時議會

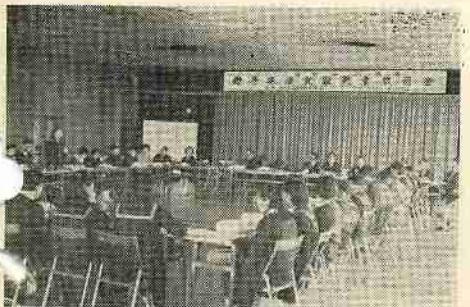
をするため、四十三年より一挙に税率を上げて増収措置を講ずることが思考されるが、当町の被保険者階層の現状から低所得者に、かなりの税負担を及ぼすので、課税率に当つては応能割（資産割所得割）を六十八%、応益割（均等割、平等割）を三十二%の標準とし、また、低所得者に対する応益割の負担をかるくするため、軽減分を四十三年度において、一般会計から繰り入れることにしました。

第一回臨時議会で附託された国際観光会館運営について、經濟委員会オロフレ莊の運営について

母子家庭の中学生就職激励会

健康保険会計の 運営について

附託を受けた社会委員会では、四回にわたり委員会を開き、慎重な審議をした結果、報告され当時の国民健康保険事業は、昭和三十年に世帯主が七割給付、次いで、昭和四十一年に世帯員全員についても七割給付を実施して、給付体制の整備充実をしました。しかし、医療費の値上げと給付の引き上げに伴う受診率の上昇などから、会計に赤字が累積されてきました。



法胆

「登別町社会福祉協議会」

員会では、三回にわたり慎重審査した結果報告され、事業の発展と企業の合理化を図り、管理、サービスの一元化を確立するため、昭和三十八年より据置かれているので現在の経済に合う程度に引上げ、大人百二十円を二百円・中人八十円を百四十円、小人七十円を九十円、幼児五十円を一百円(いずれも入湯税含まない)とし、サービス面に還元することになりました。なお、町民については従前通り大人百円です。

また、国民宿舎オーベル庄の運営については、開設以来一部民間委託として経営していたが一般大衆の利用向上と、オーベル庄の健全化を図るため、全面直営として運営することになりました。

町内母子家庭の中学生を社会に送る激励会が、去る二月二十五日中央公民館でおこなわれました。この日対象となつた生徒は三十名で、関係者より苦しみを乗り越え、職場での責任を果してほしいと励ましとお祝いのことばが贈られ、これに対し、生徒を代表して、幌中の沼田卓江さんが「母校の名にはじることなく、また、お母さんや恩師の期待にそなうつぱな社会人となりました」とお礼のことばが述べられました。

このあと、町ボランティア連盟の会員が主となって、懇談会に入り、先輩を聞くことで、社会人としての今後の心がまえ等について話し合い、また、ゲーム、映画観賞など盛會に終了しました。

しかし、小学校、中学校、高校
大学と進学するにつれ、費も
だんだん高額になります。
最近の文部省調査によると、小
学校から大学を卒業するまでに必
要な学資は「百万円」私立大学を
卒業するだけでも「百万円以上」
が必要です。

一口に百万円といつてもやはり
大金です。
お子さんを大学に入れたいけど
学資が必配だとお悩みの方も多い
のではないか。
そこで、学年期のお子さんをお
持ちの方に、将来に備えての学資
貯金がたのしくできる「郵便局の
みりおん」をおすすめします。

「登別町社会福祉協議会」
町社会福祉協議会は、昭和三十
四年発足以来、みなさんの温かい十
二年協力により、このたび、厚生大臣
より登別町のトックを切つ
て、社会福祉法人の認可を受ける
ことができました。
この法人化は、福祉事業の組織
内容とともにすくめ、地域社会に貢
献される実績が大きいことから
認可されたものであります。
今後は、社会福祉事業の法人と
して、社会的信用とみなさんの社
会福祉に対する理解を深め、地域
社会の福向上に一層活躍が期待
されています。
みなさんの変わぬご協力をお願
いします。

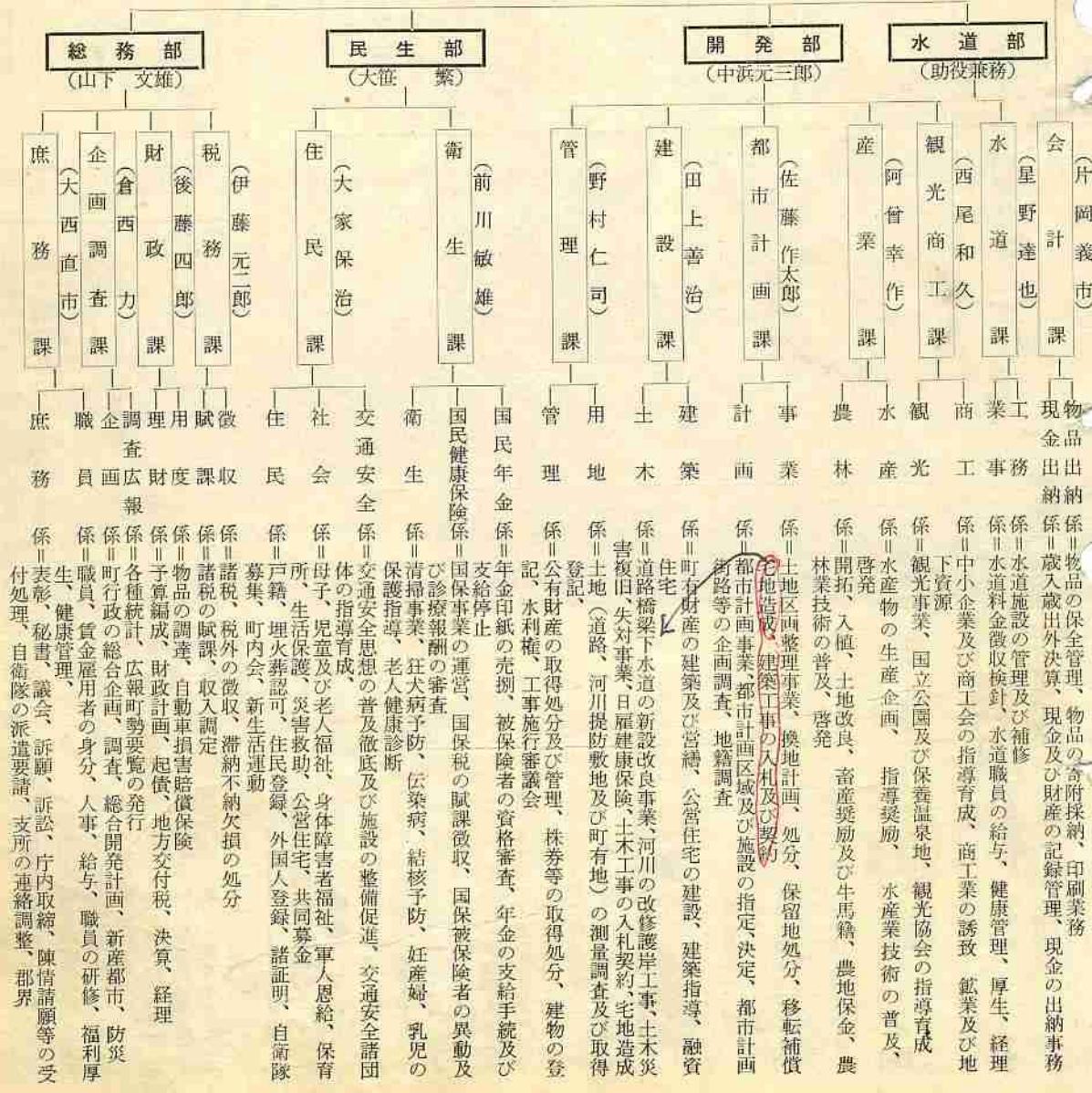
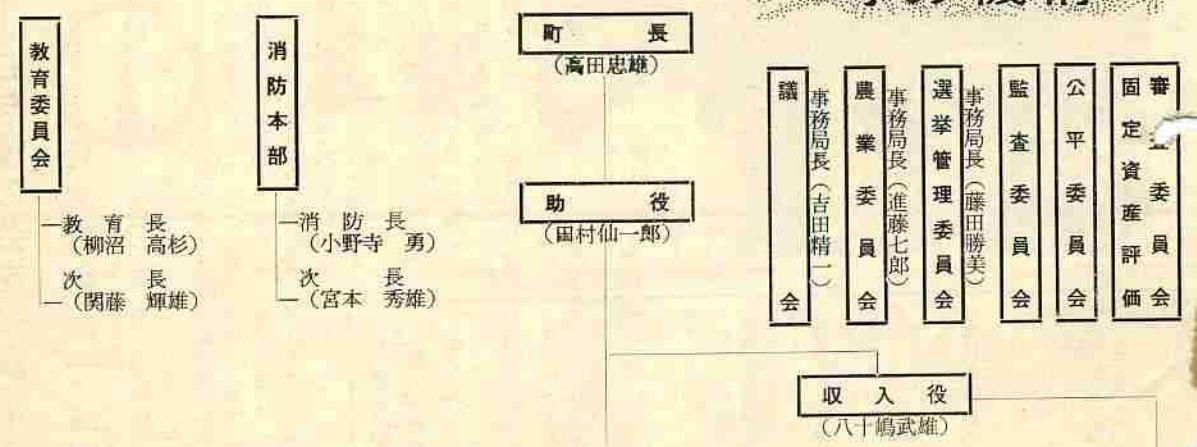
ソフ^トで清らかなメロディ
愛の鐘 一其

中
牧

基寄贈

物 例E/豊別温泉、
ロデイーを街いつばいに響かせ、住民や青少年に愛情とやさきの心をもたらしていま
す。吹鳴時間も町内会、学校、婦人会等の代表が協議の上、十前後七時（登校準備時刻）、十後四時（家に帰る時刻）、十後九時五分（寝る時刻）といふ規則が定められました。これが青少年の非行化、防止に役立たせています。

町の機構



…ご自慢の芸を発表

登別町婦人大会開く

全町内の婦人会員が一堂につど
い、会員相互の交流と親睦をはか
り、よりよい人間関係を行事をと
おして一層深めようと、登別町婦
人団体連絡協議会主催で、去る二
月十九日午前十時より中央公民館
を会場に、約百二十人の会員が出
席して第八回婦人大会が開かれま
した。

た主な内容を発表しました。

このあと、各地区十二婦人団体の芸能発表があり、日ごろ家事等ではなれがちな婦人活動も、この日の交流で、一層親睦を深め、本大会を有意義に終了することができました。

新入生

この日は、開会式にあたり、登壇された婦連会長の高田武子さんのあいさつがあつたあと、婦人会の一年の事業報告、つづいて全道婦人大会に参加した大会報告がされました。十一時から体験発表として「私が婦人会員となつて感じていること」をテーマに、上鶴別、幌別、温泉地区の各代表が、日常体験し

新入学児をもつ家庭へ
新入学児をもつ家庭では、色々と心づかいをされていることがあります。子どもにとって一番たいせつなことは、家庭でのせまい生活から、未知の学校という団体生活に入していく心がまえです。

入学後の生活を楽しく過ごせるため、ぜひこれだけは、心がけるようにしておきましょう。

自分の名前をよき

そこで町では、胃腸病の検診を
三月二十一、二十二日の二日間、
中央公民館前でおこないます。
で、希望者は、当日（午前八時か
ら九時三十分まで）受付けており
ますので、受診ください。

自分の名前をばつきり
名前を呼ばれたら「は

答えるようまた、はつきりかけるように。

集団生活ができるように、ひとりで自分のことは（ひとりで）着物を着たり脱いだり、用便、学用品などの始末（自分でできるように）

学校の楽しさを知らせる
学校には、やさしい先生や元気なお友だちがいて楽しく遊べる所であることをいいきかせましょう。

通学は安全なコースを
家から学校までの道路をひとりで安全に歩けるようにしておきましょ。

予防接種

場所	生ワクチン	月日		時間
		混 1回目	合 2回目	
ひまわり園 鶯別公民館	4月8日	4月1日	4月22日	13.00～13.30
	4月8日	4月1日	4月22日	14.00～15.00
	4月9日			
中央公民館	予備日	4月2日	4月23日	13.00～14.00
	4月15日			
社宅診療所	4月10日	4月3日	4月24日	13.00～15.00
登民会館	4月11日	4月4日	4月25日	14.00～15.00
温泉支所	4月12日	4月5日	4月26日	14.00～15.00

米穀販売業者の

米穀販売業者などの登録は、三月三十一日をもつて満了となります。引継ぎ営業される方は、更新手続きを早めにしてください。

また、新たに米販提供業者（食堂、飲食店、料理店、旅館、ホテル、寮など）になられる方も、役場観光商工課に申込みください。

美
舉

高野定治(来馬)	三〇、〇〇〇円
志賀三郎(幌別)	三、〇〇〇円
妙慎寺(温泉)	三、〇〇〇円
コーヒーバー・ルイ一、	〇二五円
匿名(幌別)	三〇〇円
〃(来馬)	一〇〇円
富士の白雪会 雜布	四〇〇枚
宮沢陸太郎(幌別)	即席スープ
匿名(幌別) 学用品	一五〇袋
一包	

（育英会へ）
日野富美（カルルス）
三〇、〇〇〇円

胃腸病は

治療 混合 第一期—生後三ヶ月以上の未接種者（百五十円）

交通制限について

第一期—第一期後十ヶ月
から十八ヶ月になつた者(五十人)

生ワクチン 第一期・生後二ヶ月
から十八ヶ月の者(六十円)
第一期・第二期後六
ヶ月以上の者(六十円)

軒先より車通し（北濱白島前交差点より来福橋まで）が、三月五日より速度制限（四十キロ）になりました。また、十字街交差点より富士橋まで両側駐車禁止となりましたので、車の所有者及び運転手の方は、十分ご注意ください。